中津川市
博物館
だより

恵那山

2024
Vol.25, No. 2

第30回企画展 **地形・地質からみる苗木城**

会期：４月27日（土）～ ９月１日（日）
会場：鉱物博物館　企画展示室

鉱物博物館

第30回企画展　地形・地質からみる苗木城　　9月1日（日）まで

苗木城は、幕末まで12代続いた苗木藩遠山氏の居城で、木曽川北岸の小高い岩山の上に築かれた山城です。岩場の地形を生かし、露岩を利用して天守台や石垣がつくられているのが特徴で、城跡となった現在でも、大きな自然石を取り込んで組み上げられた石垣などが残されています。その立地を、地学の目で紐解いてみます。

- 会　期／4月27日（土）～9月1日（日）
- 会　場／鉱物博物館 企画展示室
- 関連の催し
  苗木城の石たんけん―友の会メンバーと歩くキララガイドツアー
  日　時／7月14日（日）9：30～11：30　＊6ページもご参照ください。
- 休館日／毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）
- 入館無料日／7月28日（日）

（大林）

苗木城天守台の巨岩にみられるペグマタイト
岐阜県中津川市苗木

ペグマタイトに産する鉱物
岐阜県中津川市苗木［EB00140046］
石英（煙水晶:黒色）・曹長石（白色鱗片状）・
チンワルド雲母（灰色板状）
標本左右約15cm

苗木遠山史料館

春の企画展　苗木遠山家の歴代藩主肖像画と書画展　　7月21日（日）まで

初代友政から12代友禄（ともよし）まで、歴代藩主の肖像画を、藩主揮毫（きごう）の書画とあわせて紹介します。
歴代藩主の肖像画は、昭和59年に中津川市の文化財に指定され、平成2年に修復がおこなわれました。

- 会　期／4月27日（土）～7月21日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉

（浅井）

夏の企画展　前田青邨―戦後の挑戦　　7月27日（土）から

今回の展覧会では、市コレクションの中から戦後の作品に注目し、青邨が挑戦した様々なテーマの作品と中津川を懐かしみ描いたスケッチを展示します。洗練された線と色彩、構図の美しさに注目してみてください。
また、特別展示として『マンガふるさとの偉人　前田青邨』の漫画原稿も展示します。

- 会　期／7月27日（土）～8月25日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉
- 関連の催し
  - 土曜講座「青邨の古画研究と法隆寺・高松塚古墳の壁画をたどる」
    日　時／7月27日（土）13：30～15：00　＊4ページもご参照ください。
  - マンガの描き方教室　講師：島崎朝子　＊要申込
    日　時／8月11日（日･祝）9：30～11：30　＊館WEBサイトをご参照ください。

（上田）

スケッチする青邨
（苗木城天守から木曽川を望む）

特別展示　郷土の名工 成瀬誠志 陽明門と鬼瓦　　令和7年3月30日（日）まで

中津川市茄子川出身の名工・成瀬誠志の陶製「陽明門」と鬼瓦を展示します。

- 会　期／4月2日（火）～令和7年3月30日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 2階展示スペース
- 休館日／毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）
- 入館無料日／8月11日（日･祝）

（浅井）

陽明門（屋根部分）

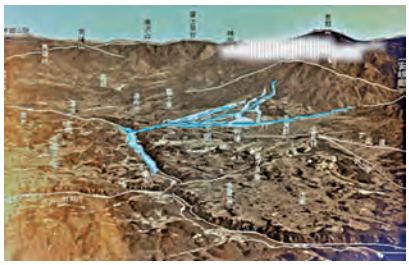
中山道歴史資料館

企画展　古文書に見る自然現象記録　中津川でオーロラが見えた？

9月29日（日）まで

中津川宿の中央を流れる四ツ目川は、恵那山（2190m）の前にある山・前山（花崗岩質で1351m）を源流とする斜度15°～20°の急流の川です。急斜度の扇状地を下って町中に入り、恵那山を源流とする中津川に合流して、北側の木曽川へと流れ込んでいます。古い記録では元禄10（1697）年に「四ツ目川洪水」で多くの被害があったと記され、それ以後も何度となく洪水と復興を繰り返しています。文化5（1808）年7月25日に起きた洪水の様子を『歳代記』の記録をもとに絵図化し、展示しました。

この洪水は、前山に降った豪雨により恵下（えげ）から宗泉寺・実戸（さんと）・新町・淀川・花ノ木、そして橋場川（中津川）の堰堤を切り、本陣のあった本町（高い場所）を避けるように下町などの低地に流れ込み大惨事になったと記述されています。この様な降雨による災害は昭和初期まで発生しています。普段は美しい山並みですが、花崗岩は風化に弱く、長い年月地表環境下に曝（さら）されると脆（もろ）くなります。そのため、現代でも「線状降水帯」などによる激しい降雨を山中に受けた場合には、先人たちの記録にあるような大災害が起き得ることが予想されます。



四ツ目川大洪水
（『歳代記』文化5(1808)年7月25日の記述をもとに絵図化）

- 会　期／4月2日（火）～9月29日（日）
- 会　場／中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日／毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）
- 入館無料日／7月7日（日）・8月4日（日）

（伊藤）

東山魁夷心の旅路館

第Ⅱ期展　白馬―祈りの風景

9月8日（日）まで

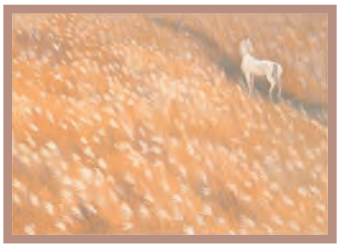
唐招提寺（とうしょうだいじ）障壁画の構想中に、ふと魁夷の頭の中に白馬が現れ、そこから「白い馬の見える風景」の連作が生まれました。魁夷は白馬を祈りの象徴と語っています。白馬の見える風景画を中心に、祈りともいうべき心静かな作品を展示します。

当館が所蔵する最大級の大きさを誇るリトグラフ「緑の詩」をぜひご鑑賞ください。

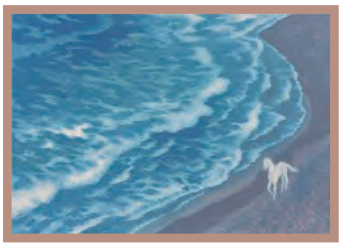
緑の詩（リトグラフ 105.0×210.0㎝）

- 会　期／6月13日（木）～9月8日（日）
- 会　場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日（詳しくは8ページをご参照ください）
- 入館無料日／8月4日（日）

（入曽）



芒野〈習作〉（リトグラフ）



風吹く浜〈習作〉（セリグラフ）

熊谷榧（かや）つけちギャラリー

第Ⅰ期展　一筋の道に生きた女流画家　中川とも展

8月25日（日）まで

日本画・油彩画・ポスターカラーによる、文楽や歌舞伎、植物などを描いた作品を展示しています。特に油彩画の人物の捉え方や大胆な筆致、日本画による植物を描いた、柔らかく繊細な線と色彩の表現は、のちの歌舞伎絵制作へ続く過程として、作風の変遷がみられる貴重な作品ばかりです。

この機会にぜひ、“中川とも”の生涯にわたる画業の一端をご覧ください。

6月28日（金）から一部作品を入れ替え、後期展示を開催。

ホッチョセ
（油彩 80.2×82.2㎝ 1954年）

- 会　期／4月19日（金）～8月25日（日）
- 会　場／熊谷榧つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日

（上田）

参加する　－催し・教室のお知らせ－

○各教室・講座の申込方法など詳細は、各館の案内をご参照ください。
○各館の連絡先は８ページをご参照ください。

凡例　作る　学ぶ　体験

最新情報は各館にお問い合わせください。
中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
※右のQRコードを読みとると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。

中津川市の博物館WEBサイトQRコード

苗木遠山史料館

古文書教室　史料館文書を読む

遠山家古文書を解読しながら、みんなで学びます。

■担当：調査員 加藤宣義

開催日	第4回 7/20（土） 第5回 8/24（土） 第6回 9/28（土） 毎月第四土曜日（7月のみ第三土曜日）		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	年間1,000円
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典（貸出あり）		

城山の日　遠山友政苗木城奪還記念講座

遠山兄弟 景任と直廉

伝統ある岩村と苗木の遠山家に断絶の危機が訪れた、戦国末期についてお話しします。

■講師：調査員 千早保之

開催日	8/11（日･祝）		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	無料
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

土曜講座

第2回「青邨の古画研究と法隆寺･高松塚古墳の壁画をたどる」

「最も重要なことはスケッチと古画研究である」と説いていた青邨。その信念をたどり、晩年に携わった法隆寺や高松塚古墳の壁画保存事業についてお話しします。企画展のギャラリートークも開催。

■講師：学芸員 上田智美

開催日	7/27（土）		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	資料代 250円
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

第3回「市内中世の遺跡と遺物」

中津川市内の中世がどうであったかということについて、遺跡や遺物といった観点から考えます。

■講師：学芸員 熊﨑真司

開催日	9/14（土）		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	資料代 250円
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

中山道歴史資料館

文学講座　島崎藤村の『夜明け前』を味わう Ⅱ

木曽の文豪・島崎藤村の『夜明け前』を朗読しながら、わかりやすく解説していきます。

■講師：館長 西村友孝

開催日	第7回 7/3（水）、第8回 7/17（水）、第9回 8/7（水） 第10回 8/21（水）、第11回 9/4（水）、第12回 9/18（水） 毎月第一・第三水曜日		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	14名	費　用	1回 250円
申　込	開催日の１週間前まで随時受付、先着順		
その他	持物：『夜明け前』		

歴史講座　明治の時代をひもとく

明治時代の歴史をわかりやすく読み解きます。

■講師：仁科吉介さん

開催日	第7回 7/10（水）、第8回 7/24（水）、第9回 8/14（水） 第10回 8/28（水）、第11回 9/11（水）、第12回 9/25（水） 毎月第二・第四水曜日		
時　間	13：30～14：30	対　象	一般
定　員	14名	費　用	1回 250円
時　間	開催日の１週間前まで随時受付、先着順		

子ども科学館

風力発電機をつくろう

風力発電の仕組みを知り、ペットボトルを利用して風力発電機をつくります。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
7/6（土）	9：30～11：30	小学生以上	12名	750円	菊山功嗣さん	締切 6/28

風力発電機をつくろう

壁旋回ビーグルをつくろう

小さな前輪２本と大きな後輪２本で、壁などの障害物に当ると自動的に右に旋回する車をつくります。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
7/27（土）	9：30～11：30	小学生以上	20名	500円	中津川工業高校生徒･先生	締切 7/19

ツインエンジン飛行機をつくろう

２個のモーターと２枚のプロペラと乾電池で走る飛行機をつくります。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
8/24（土）	9：30～11：30	小学生以上	10名	900円	佐々木喜三夫さん	締切 8/16

めざせ漫画家！～オリジナル漫画に挑戦～

手塚治虫氏の元アシスタントから教えてもらい、自分だけのオリジナルキャラクターをつくります。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
9/7（土）	9：30～11：30	小学生以上	12名	300円	島崎朝子さん	締切 8/30

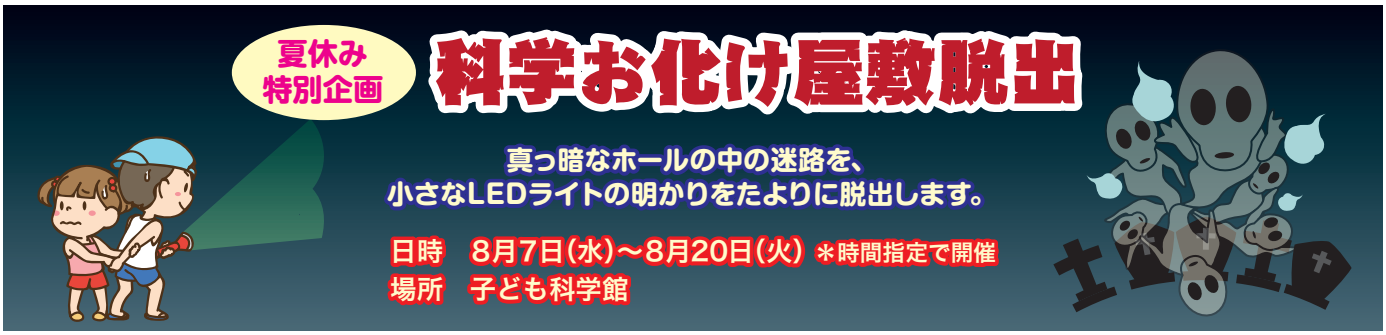
めざせ漫画家！（講師の作品）

めざせ漫画家！～プロのテクニックに挑戦～

斜線の引き方や網掛けの描き方など、プロのテクニックに挑戦します。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
9/28（土）	9：30～11：30	小学生以上	12名	300円	島崎朝子さん	締切 9/20

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。（不在の場合は、次の方が当選になることもあります。）
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。



鉱物博物館

苗木城の石たんけん―友の会のメンバーと歩くキララガイドツアー　友の会共催事業

苗木城の岩のことを企画展「地形・地質からみる苗木城」で知り、実際に苗木城跡で観察しましょう。
友の会のガイドボランティアグループ「キララガイド」のメンバーが説明します。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ の 他
7/14(日)	9:30～11:30	一　般	15名	無料	キララガイド	5/19～6/20 抽選	鉱物博物館集合 途中、自家用車での移動あり

石で電波をつかまえる―鉱石ラジオづくり

鉱石ラジオのしくみを学んで、ゲルマニウムラジオを製作します。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ の 他
7/15 (月･祝)	9:30～12:00	小5～大人	10名	1,000円	職　員	6/14～6/28 抽選	

ちっちゃな鉱物を標本にしよう

小さな鉱物でも立派な標本になります。
鉱物について学びながら、マイクロマウントとよばれる鉱物標本をつくりましょう。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ の 他
7/21(日)	10:00～12:00	小4以上	12名	400円	職　員	6/21～7/5 抽選	小3以下は保護者同伴で

石割体験　友の会共催事業

恐竜が絶滅する前にできた石を割ってみよう。かたい石があなたの手でまっぷたつ！プロの技も必見です。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ の 他
8/12 (月･振休)	13:30～14:30	小学生以上	30名	無料	中根石材	当日受付 整理券配布	

石で電波をつかまえる－鉱石ラジオづくり

ちっちゃな鉱物を標本にしよう

ミュージアムフェスタ2024 開催

ミュージアムフェスタを開催します。
いろいろな楽しい企画をご用意しています。
ぜひ、お出かけください。

ジェムストーンさがし

■主　催　ミュージアムフェスタ実行委員会（中津川市鉱物博物館･鉱物博物館友の会）
■日　時　7月28日（日）　9：30～16：30　　■入館料　無料
■催　し　鉱物の販売／手づくりパンの販売／水晶さがし
ジェムストーンさがし（有料）／石割体験／クイズラリー／手づくりアクセサリー（有料）　など計画中

＊会場設営のため、7月27日（土）は15時閉館とさせていただきます。

苗木遠山史料館

氷餅を献上

氷餅とは餅を寒中に晒し凍らせたもので、夏まで保存し６月１日に食べる行事（氷室の節句）がありました。食用の餅粉でつくられ、特に病人食に適したようです。

苗木藩では５月27日に幕府に献上する習わしでした。

11代藩主遠山友寿「江戸日記」の文政10年５月27日に「今朝両丸（江戸城本丸・西の丸）へ氷餅一箱ずつ献上した。両丸の（老中７、若年寄７）14家と田沼（意正・西の丸側用人）殿へ献上の残りを同一箱ずつ進呈した」とあります。

苗木遠山史料館の裏、城山への道に、風呂屋門がありましたが、その南（高森神社の下方）に風穴（大岩の間に出来た穴＝風呂屋）があり、氷餅はそこで夏まで保存されました。

氷餅がどこで造られたかというと、苗木から坂下に向かうちんの峠に近い高峰山の一の沢付近に、氷餅を晒して造る氷餅の池（氷餅屋）がありました。現在もその跡があります。

池は福岡村が管理し、その存在は享保２（1717）年まで記録があり、その６年後の享保８年に、氷餅屋は二ツ森山に移されたようです。（「二ツ森氷餅屋覚」『福岡町史』）

何故、高峰の氷餅の池は廃棄されたのでしょうか。一つ考えられる理由は、享保３（1718）年７月に南信濃で起きた大地震です。苗木城は石垣23ヶ所に損壊があったということから、建物も崩壊し恐らく最大級の地震だったでしょう。この地震で一の沢の水路に地殻変動が起こり、池の使用に支障を来したと想像されます。

その後は、寒期に二ツ森山で氷餅が造られ、城内の風穴に運ばれて、保存されるようになりました。

福岡には「寒製太白氷餅之粉」という木版が現存するそうですから、氷餅一本ずつに押されていたのでしょう。

「進物出之記」によると、氷餅の贈与は献上の他は一般に病気見舞いが多く、７本、15本、20本という単位で出されました。記録によると、年間2700本～3800本は造られたようです。

11代藩主遠山友寿公「江戸日記」
文政10(1827)年5月27日

氷餅を保存した風穴

（千早）

中山道歴史資料館

農諭（農喩）　江戸時代の天災飢饉対策本

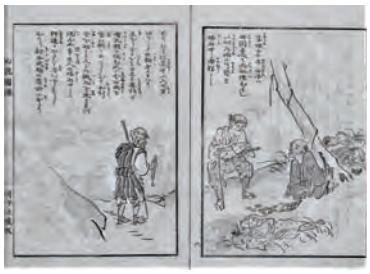
『農諭（農喩）』は文化２（1805）年に下野国黒羽藩士（農政家）の鈴木武助（正長）が、『農民懲誡篇』と題して天明の大飢饉の経験等に基づき著した天災や飢饉への対策本（救荒書）です。武助は郷方吟味役、後に家老として藩政改革に努め、倹約と備蓄を奨励しました。

とりわけ各村に郷蔵を設置したことで、天明３（1783）年の大飢饉では領内に一人も死者を出さなかったとされています。『農諭（農喩）』としての初版は、武助の死後、文化９（1812）年に出版されましたが、文政８（1825）年には水戸藩士秋山盛恭が自身の跋文を付した秋山版を出版し、これが天保年間の大飢饉を背景に全国へ普及する契機となります。こうして『農諭（農喩）』が注目されるなか、天保２（1831）年の美濃国岩村藩版は儒学者佐藤一斎等が関わったもので、九州福岡の秋月藩版として再版されるなど、領内だけでなく各地に広まりました。当資料館展示の『農諭』も、何らかの形で岩村藩版を利用したものと思われます。

『農諭』（当館蔵）
※表紙外題の表記は「農諭」または「農喩」としている版があります。

その内容は、書中の目録題を「きゝん用心農喩」とし、「第一　きゝんのうれひの事」～「第十　農業全書をよむべき事」の10編で構成されています。凶年飢饉周期説を唱え、飢饉で全滅した東北の村や浅間山大噴火の惨状、米価高騰や治安の悪化を伝え、黒羽藩が行った食料備蓄による飢饉対策、農業への取組の重要性を説いています。凶作と飢饉に苦しむ当時の人々に、この書が貴重な知識と教訓をもたらしたものと考えられます。

なお、参考展示の『凶荒図録』には、『農諭（農喩）』に書かれた実話が題材に取り上げられています。



『凶荒図録』（愛知県図書館蔵）
※明治18（1885）年、愛知県令の命により刊行された江戸３大飢饉を描いた図録。

（山田）

国際博物館の日記念イベントを開催しました

中津川市の博物館６館では、国際博物館の日（毎年５月18日）を記念して、5月19日（日）に館内を無料開放しました。

箏演奏（苗木遠山史料館）、蓄音機鑑賞会（中山道歴史資料館）、ミニプラネタリウム上映（子ども科学館）、ストーンハンティング（鉱物博物館）、ポスター先着プレゼント（東山魁夷心の旅路館）などのイベントも行われ、たくさんの方にご来館いただきました。

苗木遠山史料館

中山道歴史資料館

子ども科学館

鉱物博物館

東山魁夷心の旅路館

入館無料日のご案内

■中山道歴史資料館
7月7日（日）・8月4日（日）
六斎市

■鉱物博物館
7月28日（日）
ミュージアムフェスタ 2024

■東山魁夷心の旅路館
8月4日（日）
ポスタープレゼント（先着30名）

■苗木遠山史料館
8月11日（日・祝）
記念講座、クイズラリー、ぬり絵 など

■熊谷榧つけちギャラリー
9月16日（月・祝）

寄贈を受けました

2024年３月～2024年５月受贈分

鉱物博物館

前原謙二様　鉱物標本３点
その他　鉱物標本箱１点

ありがとうございました。

休館日

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

□東山魁夷心の旅路館休館日　青数字は子ども科学館の休館日
■その他4館の休館日　※鉱物博物館のみ7月27日（土）は15:00閉館
熊谷榧つけちギャラリーは金･土･日および国民の祝休日のみ開館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク
中津川市鉱物博物館
☎ 0573-67-2110　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/
〒508-0101　中津川市苗木639番地の15
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分
FAX　0573-67-2191

わくわくドーム
中津川市子ども科学館
☎ 0573-66-9090　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/
〒508-0011　中津川市駒場1657番地の1
JR中津川駅から徒歩約20分
FAX　0573-66-9171

苗木城跡歴史の広場
中津川市苗木遠山史料館
☎ 0573-66-8181　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/
〒508-0101　中津川市苗木2897番地の2
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分
FAX　0573-66-9290

中津川宿を中心とした歴史の旅
中津川市中山道歴史資料館
☎ 0573-66-6888　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/
〒508-0041　中津川市本町２丁目２番21号
JR中津川駅から徒歩約10分
FAX　0573-66-7021

木曽谷に抱かれた美術館
中津川市東山魁夷心の旅路館
☎ 0573-75-5222　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/
〒508-0501　中津川市山口１番地15
中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅賤母（しずも）内」
FAX　0573-75-5225

山と青川（かわ）の小さな美術館
熊谷榧つけちギャラリー
☎ 0573-82-4911　http://www.kaya-kumagai.jp
〒508-0351　中津川市付知町4956番地の52
（アートピア付知交芸プラザ内）
中央自動車道「中津川IC」から車で約40分

中津川市博物館だより　恵那山
Vol.25, No. 2　2024年７月発行
編集　中津川市鉱物博物館
〒508-0101　岐阜県中津川市苗木639-15
TEL：0573-67-2110 / FAX：0573-67-2191